

アジェンダ21すいた

エコシター



新年の挨拶

あけましておめでとうございます。新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は日本を未曾有の自然災害が襲い、多くの尊い人命が失われました。また年末にスペインで行われた COP25 では、脱炭素社会に向けて明快なメッセージが出せない結果となり、また日本は石炭火力の推進が評価され、荣誉ある(?)「化石賞」を贈られました。吹田市の環境基本計画では、市域の年間エネルギー消費量を今年度までに、1990年度比で25%以上削減するという目標を掲げていますが、目標の達成が極めて厳しい状況です。温暖化による影響が実感される今日、ますます、足もとから実のある実践が求められているといえるのではないのでしょうか。

今年もアジェンダは元気に活動を展開してまいります。皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。
(アジェンダ21すいた 代表 三輪 信哉)



新年の挨拶	1
エコレター編集部から挨拶		
お絵かきエコバッグ	2
「すいた食べきり運動推進協力店」報告		
「すいたクールアースウィーク」の取組に		
対する SELF 活動報告	3
良永ゼミ日経インカレ報告	4,5
小水力発電設備見学記		
リコージャパン見学記	6
良永ゼミからのお礼	7
各種募集・イベント案内	8

ご挨拶

～アジェンダ21すいた会員より～

新しい年を迎えて。

みなさま、新しい年を迎えていかがお過ごしでしょうか。

昨年は、台風19号や豪雨による大きな気象災害が続き、地球温暖化による気候変動の影響を強く受けた年でした。

温暖化防止に向けて国際交渉が停滞し、COP25も大きな成果をあげることなく、このまま地球温暖化の転換点（ティッピングポイント）に向かう動きが止まらないのではないのかと懸念されます。

しかし一方で、スウェーデンの少女から始まった若者たちの動きに見えるように、気候変動に対して市民が大きく声をあげた年でもありました。

新しく迎えた年は、地球温暖化防止に向けた市民、事業者、行政の協働がこれまで以上に問われ必要となるでしょう。

アジェンダ21すいたの活動をみなさまとともに、これまで以上に取り組んでいきたいと思えます。今年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



～良永ゼミより～



明けましておめでとうございます。関西大学良永ゼミです。

2019年は、様々な環境イベントやボランティアに参加する機会を多くいただき、環境問題について深く考えることができた1年でした。

今年も気を引き締めて、ゼミ活動やエコレターの製作を頑張っていきます。

何卒よろしくお願い致します！

～「お絵かきエコバッグ」 千里住宅公園～

11月4日（月・振）千里住宅公園にて「お絵かきエコバッグ」ワークショップを行いました。

吹田市を含む北摂7市3町では「レジ袋無料配布中止協定」を結んだスーパーで平成30年6月1日よりレジ袋が無料配布中止になっています。これはマイバッグ持参を呼びかける「すいたごみ減量再資源化推進会議」の活動の一環です。マイバッグ持参はまず、子どもから。この日は、布製の小さめのトートバッグを用意。体験型のイベントは人気があり、93人も参加がありました。中にはお父さんやお母さんの方が夢中になって、素晴らしいエコバッグを作った人もいました。子どもたちも精いっぱいお絵かきをしてくれて、世界にひとつだけのマイバッグができました。お買い物に役立ててくれるものと思います。



子どもたちも精いっぱいお絵かきをしてくれて、世界にひとつだけのマイバッグができました。お買い物に役立ててくれるものと思います。

（資源部会 水川晶子）

～今年も「すいた食べきり運動推進協力店」の呼びかけを行います～

大量に出る食品ロスを少しでも減らそうと、アジェンダ 21 すいたと吹田市では「すいた食べきり運動推進」の取り組みを平成30年度から展開しており、今年で2年目になります。飲食店を1軒ずつ回って、統一キャラクター「ペロリンコ」の付いたポスター掲示や啓発グッズをお店に置いていただく「すいた食べきり運動推進協力店」への賛同を呼びかけています。昨年度は JR 吹田駅周辺と大阪メトロ江坂駅周辺のお店を訪問し、54店舗の協力を得ました。令和元年度はその54店舗に、お客さんの反応や店側の意識の変化などを聞く後追いヒアリングと、協力の継続を依頼しました。興味深い回答が得られたので紹介します。

「ポスターを見て気づきとなっている（中華料理店）」「小盛りメニューがないか聞かれるがチェーン店のマニュアルで決められている為、応じられない（軽食カフェ）」といった店のジレンマがあり、食品ロスについては「食べ残しが減った（ホテル A）」「ご飯の量が選べる（居酒屋 A）」「コース料理の締めのパスタを、前の料理の残り具合を見て量を減らす（居酒屋 B）」と店側の工夫も見られます。

また、残った料理の持ち帰りは「いいことだと考え、奨励している（居酒屋 C）」「もともとテイクアウトできるので大丈夫（軽食カフェ）」と持ち帰りを認めている店と、「何かあったら店が困る（居酒屋 B）」「店の責任を問われる。保健所が自己責任を認めてほしい。昔はできたが今はできない風潮だ。大手ホテルが取り組んでくれれば従うホテルはあると思う（ホテル B）」「容器及び衛生面の問題（そば屋）」などの持ち帰り NG としている店に分かれます。

持ち帰りについては、国の方でも「これまではダメと言ってきたが、自己責任でよしとする」方針を奨励しているのですが、なかなか末端まで届かないようです。保健所の見解が重要なので、私たちの運動が橋渡しになればと考えています。

今年度は、阪急沿線の北千里駅、南千里駅、千里山駅、関大前駅の周辺のお店に協力店依頼に訪問活動中です。寒い中ですが、冬場の宴会シーズンに活動しています。吹田市内のあちこちの飲食店に「ペロリンコ」のポスターやグッズが掲示され、外食での食べ残しが減ることを願っています。皆さんもポスターを見かけたら、食品ロスについて考えてみてくださいね。（食品ロス削減 FPT 水川晶子）



ステッカー

～「すいたクールアースウィーク」の取り組みに対するSELFの活動報告～

NPO法人すいた環境学習協会（SELF）のメンバーはすでに各自が自発的に地球温暖化防止に取り組んでいると思われませんが、地球温暖化は確実に進行していることを日常生活で体験しています。

今回のアジェンダが企画している「すいたクールアースウィーク」の趣旨に賛同するとともに、あらためて日常生活を振り返るべく、運動期間を3週間として項目を決めてメンバーに取り組んでいただき、その結果を語りました。（SELF 地球組 菅田 勲）

- ・主眼：エネルギー消費量の減少を図る。 ・運動期間：10月5日～10月27日（3週間）
- ・チェックポイント：3項目とし、具体的な方策を明示し、結果を4段階に分けて自己採点していただき報告願った。

報告いただいた方の割合は下記の通りです。（回答46名）

項目	具体的な方策	よくできた	できた	偶々できた	しなかった	自転車未保有
自動車の利用を減らす	徒歩で出かけた	65	22	13		
	自転車を利用した	48	9	13		30
	バス電車を利用した	22	65	9	4	
節電の取り組み	使っていない電源を切る	30	52	9	9	
	エアコンを使用しない（注）	35	43	22		
	夜は早く寝る	22	26	35	17	
ガスの節約	沸かした風呂には速やかに入る	44	43	9	4	
	風呂の残り湯を利用する	52	17	22	9	

（注）運動期間が10月のためエアコンをまだ使用していない家庭もかなりあったと思われる。

西日本インカレに向けて

～各班のプレゼン紹介～

私たち良永ゼミは、2019年11月25日の西日本インカレに向けて寝る間も惜しんでプレゼンを考えました。

これから始まる就職活動にも繋げられるような経験でした！惜しくも、予選を通過できたのは、ひと班だけでした。ですがとても充実した一日になりました。

みんなお疲れさまでした!!!



食農班

スマート農業を活用した新たな農業の形を研究しました！

現在、日本の農業人口の平均年齢は上昇傾向にあり、農業就業人口は減少傾向が見られています。そこで私たちは衰退しつつある農業を変える手段として、AI・ICTを取り入れたスマート農業に着目しました。そこで実際に活用している生の声を聞くためにスマート農業の普及率が高い北海道士幌町へ一週間現地調査に行きました。それにより、今まで学んできたことと、実際の現地の方との声では違いが存在しているということを知り、より深い知識を身につけた上で、西日本インカレに臨み、無事予選を突破、本選へ出場し研究成果を出し切ることができました。



ゴミ班

海洋プラスチックごみ問題を研究しました！

身近である関西大学に、デポジット制度（環境に悪影響を与える使い捨てプラスチック製品の回収を促すため、製品の販売時に預り金を価格に上乗せし、消費者が使用済製品を回収システムに返却する際に預り金を返還する制度）を組み込む、「deposit university」の提案を行いました
実現の可能性が見込める、ペットボトル、食品トレイ、傘に焦点を当て、各々の取り入れ方法をまとめています。残念ながら本選に進むことはできませんでしたが、まだまだゼミ活動は続くため、ブラッシュアップを重ねてさらに改善をしていきます！

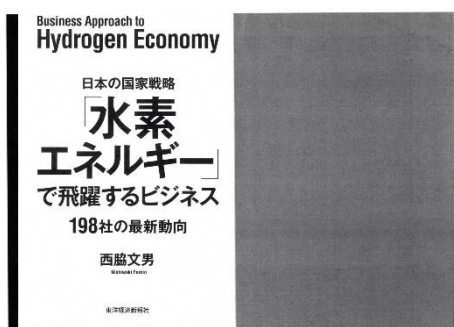


再エネ班

水素×再エネについて研究しました！

日本をクリーンな国にするために、天候などにより発電量が不安定である再生可能エネルギーをうまく活用できないかを考えたところ、水素の貯蔵性を生かし、再エネを普及させることができるのではないかとすることに気が付き研究を始めました。再エネで多く発電できた場合は、水素に変換し貯蔵、少ない場合には、水素で発電を行い電力供給します。

前日の夜中までたくさん練習を重ねましたが惜しくも本選に進むことはできませんでしたが、一生懸命にある一つのことに取り組めたことはこれからのつながるいい経験になりました。



～小水力発電設備見学記～

千里山東4丁目にある吹田市水道部の佐井寺配水場に小水力発電設備が設置されたというので、アジェンダ会員有志で現地見学に行ってきました。

実際に機械が設置された地下空間に入らせてもらいましたが、畳3畳ほどの大きさで深さは2メートルほどでした。この発電設備はダイキン工業の子会社のDKパワーと官民連携によって設置されています。吹田市の土地を有償で貸与するという「土地貸し方式」を採用しており、設備費用はDKパワーが負担し、吹田市の費用負担はありません。その上、売電収入の一部と貸付料、固定資産税によって年間50万円程度が吹田市の収入になります。

設備の耐用年数は25年ほどで、DKパワーとしては地域貢献の意味合いが強いと伺いました。発電出力は24.0kWで、年間予定発電量は156MWhとなりますが、これは一般家庭約50軒相当で、約90トンの二酸化炭素削減効果があります。(一般家庭の年間消費電力量を3,500kWh、二酸化炭素削減係数は550g-CO₂/kWhで算出)

大阪広域水道企業団の千里浄水池から佐井寺配水場へ自然流下で受水する際の余剰圧力で発電するわけですが、落差が25mは必要とのこと。水市内では津雲配水場もこの条件を満たすので導入を検討しているようです。水道部は「水道事業は多くの電力を使用することから、今後も省エネや再生可能エネルギーの普及を促進したい」と意気込みを話しており、今後の取り組みが期待されます。

なお、100kW以下の小規模な水力発電設備を特に「マイクロ水力発電」と言うそうですが、大阪府内での稼働はこの設備が初めてだそうです。

(エネルギー部会 馬場慶次郎)

～リコージャパン見学記～



リコージャパン株式会社の本町橋事業所を見学させていただきました。

以前は、環境の取り組みについて見学される方が多かったようですが、今は働き改革が一番多いそうです。私たちはSDGsをテーマに見学させていただきました。

パワーポイントであらかじめリコージャパンの取り組みの説明を受けたのち、実際にオフィスを見学させていただきました。余分なものがない、仕事に集中できる、そして、窓の外を見たり、ひとりでこもって仕事をしたり、少人数で打ち合わせをしたり、ちょっとぶら下がり健康器具で息抜きしたり、こんなところで仕事したいな、と思うような場所でした。個人ロッカーには「My SDGs宣言」のマグネットシールが貼られています。これは、私たち、個人でも真似できそうです。

見学後は、RE100(再生可能エネルギー100%での事業運営を目指す国際イニシアチブ)達成のプロセスとして、省エネ、再エネ、創エネ、畜エネの取り組みについて、Nearly ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)を取得した岐阜営業所の取り組みや大阪府との包括連携協定についてお話を聞くことができました。

なお、アジェンダ21すいたも助成をいただいたリコー社会貢献クラブ・FreeWillは、社員が会員になってお給料の100円未満、ボーナスの1,000円未満を寄付して集めたお金を助成金にしているそうです。すべては環境のために! ONE TEAMということでしょう。

お忙しい中、見学させていただきありがとうございました。(感謝)

(幹事 池淵 佐知子)



一年間

ありがとうございました！！！！

良永ゼミとしてエコレターに携わらせていただきもう一年が経とうとしています。初めは不慣れで、何を書いているかわからず悪戦苦闘していましたが、今となっては良永ゼミの魅力をたくさんの人に知ってもらえるようたくさんの方を詰め込んでいたと思います。輪読やエコ検定取得、パワーポイントの作成や発表。すべて、良永ゼミで学び身につけました。大会に提出するパワーポイントの締め切りに追われ、各班ピリピリしたり、時には喧嘩もしました。しかしそれは、より良いものを作りたいという一心でした。大会の日にはそんな喧嘩の日々も忘れ、みんなで



「頑張ろう」「絶対大丈夫」なんて言葉をかけあい、一丸となりました。合宿での話し合いなん



で、どれだけ時間があっても足りませんでした。「ああしたい」「こうしたい」、そんな言い合いを永遠繰り返し、眠たい目をこすり、ほほをつねり、時には、カップ麺やポテチを食べながら。

UNO や懇親会などのレクリエーションだって全力で。UNO の罰ゲームでおしりをたたかれたこともありましたが、懇親会は、ゼミの先輩から貴重な話もたくさん、お酒もたくさん飲みました。

良永ゼミでよかったと心から思えるのは、このメンバーだったからです。つらい時も楽しい時も、すべて分かち合えたからこそ、最高の絆が生まれました。これからのみんなの未来に幸あれ！！！！

3 回生幹事

中谷 三松 馬杉



各種募集・イベント案内

◇「くるくるアースフェスタ」開催！◇

循環型社会、低炭素社会の形成に向けた啓発イベントの一つとして、「ストップ地球温暖化」をテーマに幅広い人々へ環境問題への興味を持っていただくため、様々なブースを出展します。

アジェンダ21すいたからも地球温暖化防止フラッグシッププロジェクトチームがSDGsアンケートやアジェンダ21すいたの活動内容報告などを出展予定です。ガンバ大阪所属監督や選手のポスターが当たる抽選会も実施します！是非お越しください。

◆とき／令和2年2月16日（日）午前10時00分から午後4時00分まで ◆ところ／EXPOCITY 光の広場 ◆主催／吹田市 受託先／（公財）千里リサイクルプラザ 協力／アジェンダ21すいた ◆問合せ／くるくるプラザ（TEL：06-6877-5300）へ。

◇みんなで自然由来の電気に切り替えよう◇

1月28日（火）より吹田市は西日本初の電気の切り替えキャンペーンを始めます。これをきっかけに、電気代が安く、太陽光や風力などの自然由来の電気を販売している電力会社への切り替えを検討してみませんか。詳細は、みんなで簡単やさしい電気の切替キャンペーン事務局ホームページ（<http://suita.group-buy.jp/energy>）へ。※参加登録は2月28日（金）まで。登録無料。

◆問合せ／みんなで簡単やさしい電気の切替キャンペーン事務局（TEL：0120-737-200）へ。
（月～金曜日 午前10時00分～午後6時00分）

◇ごみの行方見学ツアー◇

吹田市の家庭から出るごみを処理している資源循環エネルギーセンターと破碎選別工場を見学できます。

◆とき／令和2年3月14日（土）午前9時30分から午後3時00分 ◆集合時間・場所／午前9時20分・吹田市役所正面玄関前（解散場所も同様） ◆主催／吹田市 ◆参加費／無料 ◆対象／小学4年生以上 ◆定員／先着30人 ◆申し込み、問い合わせ／2月5日（水）から3月12日（木）までに電話かファックスで、吹田市環境部環境政策室（TEL：06-6384-1702、Fax：06-6368-9900）へ。

アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止や食品ロス削減をはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、

アジェンダ21すいた事務局まで

【アジェンダ21すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782 FAX 06-6368-9900

エコレター編集担当 関西大学良永ゼミより

●編集後記●

1年間、エコレターに携わらせていただくことができ、本当にうれしかったです。一学生の文章を読んでもいただきありがとうございました。（中谷）

1年間ありがとうございました！この一年を通して、記事を作ることや編集作業の難しさ、楽しさを学ぶことができました。エコレターとなって初年度という貴重な機会に、この制作に携わることができて本当によかったです！（三松）

このエコレターを通して、少しでも環境問題に興味を持つ人が増えるといいなと思います。1年間ありがとうございました。（馬杉）